

2016年7月18日、パリ

世界6地域でセクターリスク評価を見直し

新興市場諸国ではセクターリスクが依然として上昇

- 依然として、地域間の格差が強い：格下げ6件のうち5件は新興市場
- 欧州では多くのセクターで活発な家計消費が追い風に
- 英国各セクターの健全性は低下、「ブレグジット」後の判断次第

欧州経済は回復段階に入るも、政治的問題（ブレグジット）が浮上

西欧諸国では、家計消費が上向いており、家計及び企業の信頼感の回復という形で反映されている。こうしたポジティブな動向により、ICT¹及び自動車セクターが低いリスクに再分類されるに至っている（西欧及び中欧・東欧）。新車登録台数の上昇が自動車メーカー及び冶金セクターの企業にとって恩恵をもたらしている。冶金セクターは依然として高いリスクに分類されているが、その評価は格上げされた（このセクターの顧客のうち、自動車セクターが12%、建設セクターが50%を占めている）。建設セクターにおいて年初に見られた緩やかな改善は、今回も確認されている。域内における建築許可件数の上昇も含めて（3月の前年同月比で、スペインで35%、ドイツで12.5%、フランスで7.6%増）、建設セクターは平均的なリスクの評価を取り戻した。

家計消費のポジティブな動向にもかかわらず、繊維セクターには域内競争の激化が重くのしかかっている。繊維セクターの中位セグメントは、欧州内の大手グループからのプレッシャーを受けている。

欧州地域全体としては勢いを増しているが、イギリスの3つのセクターは、欧州連合からの離脱が予定されるなかで、注意深い観察のもとに置かれている。短期的には、建設セクター（GDPの6.1%に相当）は、ポンド下落に伴う輸入価格上昇による圧迫を受けるだろう。製薬セクター・自動車セクターは、輸入障壁により悪影響を受ける可能性がある。これらのセクターの製品は最も輸出比率が高いからである（輸出全体のうち、それぞれ7.8%、11.3%に相当する）。

新興市場・先進国市場のあいだのシフト

ラテンアメリカは引き続き世界で最もリスクが高いと考えられており、エネルギー、鉄鋼、建設の各セクターは最大リスクの区分、すなわち「非常に高いリスク」に分類されている。明るい面を見ると、ブラジルでは、他の多くのラテンアメリカ諸国と同様に、2015年には通貨レアルの対ドルレートが下落した（47%下落）ことも好材料となり、製紙パルプ製造において相対的な優位を得られた。2016年1月～5月、ブラジルの輸出は10%増大し、製紙・木材セクターのリスクが低下した（平均的なリスクに復帰）。

コファスが分析対象とする12セクターのうち、グローバルに見て最もリスクが低いのは医療セクターである。国際環境が厳しくなっているにもかかわらず、このセクターは、

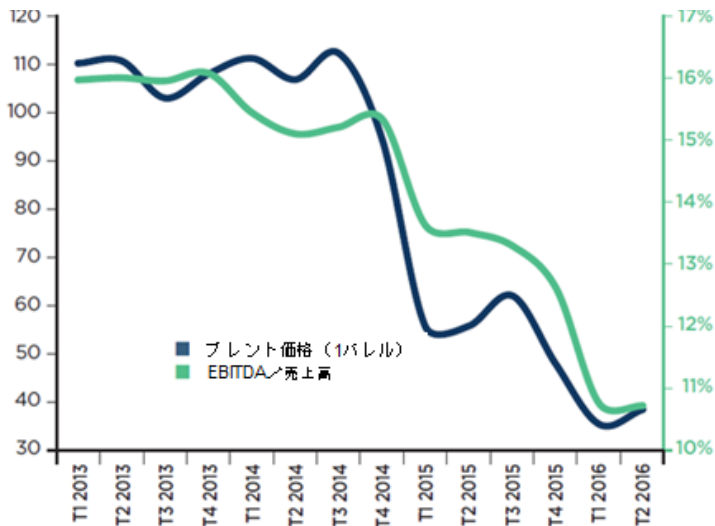
¹ ICT＝情報通信技術

新興市場諸国における医療需要の増大、先進諸国における還付をベースとするビジネスモデルによる追い風を受けている。こうしたことから、企業の投資意欲は高まっている。北米地域における収益性の高さに鑑みて、コファスでは**製薬セクターを非常に低いリスク**に分類している。とはいえ、2016年になって米国の成長率が勢いを失いつつあり（1.8%）、小売売上高も減速していることは、消費の鈍化を反映している。北米の**繊維セクター**はこうした減速による影響を受けており、**高いリスク**へと評価を下げた。

石油依存度の高い地域はグローバルなトレンドと逆行

経済のトレンドが好転しているにもかかわらず、一部の地域は、ひどい不振に苦しむセクターを抱えている。

1バレルあたり原油価格と対比したエネルギーセクターの収益性
(EBITDA/売上高)



もっぱら石油輸出に依存している**中東地域**は財政緊縮政策を採択しており、他のセクターに悪影響が出ている。こうした措置は、活発な家計消費に依存している**経済活動**にとっては重荷となっている。このような展開が生じているのは石油価格が低下し、燃料補助金の減少につながっているためである。結果として、**自動車、食品、小売、繊維・衣料**の各セクターは、すべて**高いリスク**に格下げとなった。

公的支出の削減を迫る政策も、アジアの新興市場諸国に影響を与えている。特にこれが顕著なのは**建設セクター**であり、顧客からの支払い遅延が増大していることにより、企業の債務水準は記録的なレベルに達している。したがって同セクターは**非常に高いリスク**に格下げとなった。その一方で、農産物価格がやや上昇していることにより、**農産食品産業**ははるかに順調で成長を示している。

セクターリスク評価						
セクター	西欧	アジア 新興市場	北米	南米	中欧	中東+ トルコ
農産食品						
自動車						
化学						
建設						
エネルギー						
ICT*						
金属						
製紙・木材						
製薬						
小売						
繊維・衣料						
輸送						

出典：コファス
* 情報通信技術

低いリスク
 中程度のリスク
 リスクは改善
 高いリスク
 非常に高いリスク
 リスクは悪化

セクターリスク評価の手法

コファスによる評価は、主要6地域（アジア新興市場、北米、南米、西欧、中央、中東+トルコ）の上場企業が公表している財務データに基づいている。コファスの統計的信用リスク指標は、4つの財務指標（売上高、収益性、正味債務比率、キャッシュフロー）の変化を同時に要約するものであり、コファスのネットワークを通じて記録された信用保険請求により補充している。

連絡先:

ジョナタン・ペレス - Tel. 03 5402 6108 - jonathan.perez@coface.com

コファスとは

取引信用保険で世界有数の企業であるコファス・グループは、国内及び輸出取引において、取引先の債務不履行のリスクからお客様を守る為のソリューションを、全世界の企業に提供しています。2015年には、4,500名のスタッフのサポートによって、コファス・グループは14億4900万ユーロの連結売上高を計上しました。100か国における直接的及び間接的なプレゼンスによって、コファスは40,000を超える企業の200か国以上にまたがる取引をカバーしています。コファスでは、企業の決済動向に関する独自の知見と、660名のアンダーライターと信用調査のエキスパートの専門知識に基づいた、160か国に及ぶカントリー・リスク評価を四半期毎に発表しています。フランスでは、コファスはフランス政府の輸出保証の管理をしています。

www.coface.com

コファスSAIはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています。
ISINコード：FR0010667147 / ティッカーシンボル：COFA

COFA
LISTED
EURONEXT